



SnapDrive ウィザードとは

Snapdrive for Unix

NetApp
June 20, 2025

目次

SnapDrive ウィザードとは	1
ウィザードを使用して実行された処理	1
ウィザードを使用したストレージ管理	1
ウィザードを使用した Snapshot コピーの管理	2
ウィザードを使用してストレージを削除する	2

SnapDrive ウィザードとは

SnapDrive には、特定の SnapDrive 処理を対話型で実行するために役立つさまざまなウィザードが用意されています。

ウィザードを使用して実行された処理

さまざまなウィザードを使用してストレージエンティティを作成し、 SnapDrive for UNIX を効率的に操作できます。

次の SnapDrive for UNIX コマンドには、処理を実行するためのウィザードが用意されています。

- ・「ストレージの作成」
- ・「storage delete」をクリックします
- ・'snap restore (スナップ復元
- ・'snap connect'
- ・'Snap disconnect' (スナップ切断

ウィザードを使用したストレージ管理

SnapDrive for UNIX ウィザードを使用すると、対話型の効率的な方法でストレージを作成できます。このウィザードでは、画面の指示に従ってストレージを作成できます。

SnapDrive ストレージ・ウィザードの create コマンドを使用すると ' ウィザードを起動できます

次のストレージ管理処理を実行できます。

- ・LUN を作成する
- ・ディスクグループを作成し、 LUN を自動的にセットアップする
- ・ディスクグループを作成し、 LUN を指定する。
- ・ホストボリュームを作成し、 LUN を自動的に設定する
- ・ホストボリュームを作成し、 LUN を指定
- ・LUN にファイルシステムを作成し、 LUN を自動的に設定する
- ・LUN 上にファイルシステムを作成し、 LUN を指定する。
- ・LUN 上にファイルシステムを作成し、 Logical Volume Manager (LVM ; 論理ボリュームマネージャ) とディスクグループを指定して LUN を自動的にセットアップする
- ・LUN 上にファイルシステムを作成し、 LVM とディスクグループを指定して LUN を指定します
- ・LUN 上にファイルシステムを作成し、 LVM とホストボリュームを指定して LUN を自動的にセットアップします
- ・LUN 上にファイルシステムを作成し、 LVM とホストボリュームを指定して LUN を指定します

ウィザードを使用した Snapshot コピーの管理

ウィザードを使用して Snapshot コピーを管理できます。このウィザードでは、一連の質問を実行し、スナップ接続、スナップリストア、およびスナップ切断操作を実行できます。

ウィザードは、 SnapDrive snap wizard コマンドを使用して実行できます。

次の表に、各種の処理と、ウィザードを実行するための対応するコマンドを示します。ウィザードを起動したら、アプリケーションウィンドウの手順に従います。

操作	コマンドを実行します
Snapshot リストア	SnapDrive スナップ・ウィザード・リストア
Snapshot 接続	SnapDrive スナップ・ウィザードは接続します
ストレージシステムボリュームを含むファイルシステムの Snapshot 接続処理	ディスクグループの Snapshot 接続
LUN の Snapshot 切断	SnapDrive スナップ・ウィザードは切断されます
ディスクグループのスナップショット切断	ホストボリュームの Snapshot の切断

- 制限事項 :* SnapDrive for UNIX 4.1 以降では、 SnapDrive snap wizard コマンドには次の制限があります。
- ボリューム・ベースの SnapRestore は 'snap wizard restore' コマンドではサポートされていません
- FlexClone ® ボリュームは 'snap wizard connect' コマンドではサポートされていません
- 応答しないファイル指定に対する操作は 'snap wizard' コマンドではサポートされません

ウィザードを使用してストレージを削除する

ストレージ削除ウィザードを使用して、特定の削除処理を実行できます。

ウィザードは、 SnapDrive storage wizard delete コマンドを使用して開始できます。

次のエンティティを削除できます。

- LUN
- ディスクグループ
- 論理ボリューム
- ファイルシステム

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。